

議会活動の外部評価の実施について

1 趣 旨

議会運営委員会ミーティング（3月24日）における山崎幹根議会サポートター（北大公共政策大学院教授）との意見交換を経て、議会運営員会での共通認識を図るもの。

2 北大大学院による外部評価手法研究成果の活用方法（山崎サポートー談）

- (1) 研究成果をそのまま活用しなくてよい。
- (2) 成果を達成するために必要な活動（報告書「P28」参照）は現状を検証する視点として適切である。
- (3) 3つの活動（報告書「P30」参照）を参考に芽室町議会独自の解決策を検討する。

3 議会の外部評価について

- (1) 議会活動を対象として、参加者が評価する手法は有効
- (2) 町民による事業検証は選択肢のひとつ
- (3) 町民と議会の相互理解を進化させる手法として意識する
- (4) 各事業の目的、目標を明確に設定することが前提
- (5) 評価指標は「町民の満足度」及び「個別事業の達成度」を設定（年度総括）
- (6) 議会活動の大きな目標は、次回選挙の「投票率アップ」に設定（1期4年の総括）